

CCBJニュースレター 第100号

2022年10月28日

会員の皆様、

CCBJニュースレターは今月で創刊100号を迎えることができました。会員の皆様ならびにこれまでご寄稿いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

当ニュースレターは、会員の皆様にブラジルと日本のビジネスに関連する情報をお届けするためのコミュニケーションチャネルの一つとなっています。

今月号では、トジーニ・フレイレ弁護士事務所パートナーでキャピタルマーケット担当のヒカルド・ストゥーベル氏に、ブラジルの新たな証券化フレームワークや法的安全性について解説していただきました。

11月19日、20日には、東京・代々木公園でCCBJ主催の第15回ブラジルフェスティバルが開催されますので、是非皆様ご来場ください。両日とも充実のステージプログラムに加え、ブラジル料理・ドリンク、雑貨の販売もあります。ブラジルフェスティバルにご協賛いただきました三井物産、味の素、ブラジル銀行、イマイ・グループ、レコードTVジャパン、セアラ、ブラステル、Alfainterの各社に感謝申し上げます。

それではどうぞよろしく申し上げます。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

市場活性化と法的安全性向上をもたらす新たな証券化フレームワーク

トジーニ・フレイレ弁護士事務所パートナー
ヒカルド・ストゥーベル（キャピタルマーケット担当）

ブラジルで2022年8月4日に公布された法律第14,430号（証券化法）は、証券化市場全般にとって重要な契機となるもので、これによって従来の不動産証券化（1997年11月20日法律第9,514号）および農業関連事業証券化（2004年12月30日法律第11,076号）に関する様々な規定が一つに集約された。

証券化業務を「金融債権を裏付けとして証券を発行し投資家向けに販売すること」と定義することによって証券化の一般的な概念を定め、欧米市場における証券化の考えに沿った形で法的安全性を向上させた。

これにより、不動産やアグリビジネス、金融債権だけでなく、学校の授業料や貿易手形などの商業債権、エネルギーや通信料、病院の収入なども証券化できるようになった。

新たな規定はまた、例えば、第22条第6項の条件に基づいて証券化を行う会社がキャピタルコールを採用する可能性など、証券化事業の新たな構造化を可能にする仕組みももたらす。

このような施策により、証券化の構造の柔軟性が高まり、より効率的な資金運用が可能となる。

なお、法的安全性に関しては、債権証書だけでなく、証券化事業を代表する他の証券についても受託者制度の導入に関わる条項が設けられたことも重要な点だ。従来は不動産受益権債権（CRI）とアグリビジネス売掛債権（CRA）にしか認められていなかった受託者制度が、今後は国家通貨審議会の決議第2,686号に基づき金融債の発行でも導入可能となった。

また証券化法第27条第4項に「いかなる理由であれ、証券化を行う会社の資産を特定の受益証券として分配あるいは分離することを定めるこの法律の規定は、証券化を行う会社の租税や社会保障に関連する債務や労働債務、特にそれらに帰する保証や特権に関して効力を生じる」と明記されたことで、暫定措置第2158-35/2001号の効力に関する長年の議論に終止符が打たれたことも特筆に値する。

(経済)

ブラジル企業の4割 道路よりも鉄道など他の運送手段を利用したいと回答

ブラジル全国工業連盟が実施した調査によると、ブラジル企業の約40%は道路以外にインフラ設備が整った輸送網があれば他の運送手段を利用したいと考えていることが判明しました。企業の28.5%は、製品の輸送に利用してみたい主な運送手段として鉄道を挙げました。現在の鉄道事情では道路の代替手段として使えないため、実際に鉄道を製品の輸送に利用している企業の割合は8%にとどまっています。そのうち63%の企業が鉄道網を「普通、悪い、非常に悪い」と評価。「良い、非常に良い」と答えた企業の割合は31%でした。

動画はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=Q6sxxkNGGbos>

出所：アジェンシア・ブラジル通信社

ブラジル企業 オーガニック食品に関心

フランス・パリで開催された世界最大の食品見本市「SIAL Paris」に、ブラジル全国工業連盟（CNI）のサポートで出展した100社を超えるブラジル企業のうち20%は、展示や商談会のためにオーガニック製品やサステナブル製品を持参しました。オーガニック製品を扱う企業の参加は、1964年のSIAL開始以来、最大規模となりました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響で、健康に良い製品を求める傾向はますます強くなり、オーガニック製品の売上増を後押ししています。ブラジルの経営者もこうした傾向に着目し投資を拡大しています。

オーガニック製品推進協会（Organis）が行った2019年から2021年のオーガニック製品の消費に関する調査によると、オーガニック食品を消費するブラジル人の割合は63%増加しました。2017年と比較すると増加率は107%に達しています。

出所：ブラジル全国工業連盟（CNI）

ホームページ：<https://www.sialparis.com>

ブラジル連邦貯蓄銀行とSEBRAE 女性起業家支援プログラムを創設

ブラジル連邦貯蓄銀行（CAIXA）とブラジル零細小企業支援サービス（SEBRAE）は、女性の起業を支援するための新たな共同事業「女性起業家のためのCAIXA」（Caixa Pra Elas Empreendedoras）を発表しました。今年8月に打ち出されたプログラム「女性のためのCAIXA」（Caixa Pra Elas）の一環として実施される事業で、女性向けに金融教育や起業、ジェンダーに基

づく暴力予防などについて助言を行います。ブラジル連邦貯蓄銀行のダニエラ・マルケス総裁によると、新たな事業では能力開発や融資を通して女性の起業支援を行うことを目標としています。11月19日の女性起業家の日までに、ブラジル連邦貯蓄銀行は個人事業者登録を希望する女性向けに総額10億レアルの融資を行う予定です。

詳細はこちら：https://www.caixa.gov.br/caixa-pra-elas/empreendedoras/paginas/default.aspx?utm_source=site-caixa&utm_medium=home-central-destaques&utm_campaign=2022-caixa-pra-elas&utm_term=empreendedoras&utm_content=posicao1

出所：アジェンシア・ブラジル通信社

ブラジルフェスティバル

在日ブラジル商工会議所（CCBJ）は第15回ブラジルフェスティバルを開催します。2日間にわたり東京でブラジル文化や音楽を楽しめるイベントとなりますので、是非皆様ご来場ください。

シュラスコやムケッカ・バイアーナ、タピオカクレープ、コシーニャ、カイピリーニャなどブラジルの様々な料理や飲み物のほか、ブラジルの衣服やアクセサリーを扱う屋台も出店します。

日程：11月19日（土）、20日（日）、午前11時～午後7時

会場：代々木公園イベント広場（東京）

入場無料

主催：在日ブラジル商工会議所

Facebook: [CCBJ.JP](https://www.facebook.com/CCBJ.JP)

Instagram: festival.brasil